

平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エイアンドティー
 コード番号 6722 URL <http://www.aandt.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 磯村 健二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 吉村 佳典

TEL 045-440-5810

四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	4,378	4.6	296	△28.5	282	△30.2	201	△23.5
24年12月期第2四半期	4,187	13.3	414	24.7	404	24.8	262	64.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	32.15	—
24年12月期第2四半期	42.03	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第2四半期	9,441	4,339	46.0	693.63
24年12月期	9,336	4,197	45.0	670.82

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 4,339百万円 24年12月期 4,197百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	12.00	12.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	3.9	630	△16.8	600	△18.8	420	△13.4	67.13

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期2Q	6,257,900 株	24年12月期	6,257,900 株
25年12月期2Q	998 株	24年12月期	940 株
25年12月期2Q	6,256,910 株	24年12月期2Q	6,256,960 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P. 2「当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における我が国の経済は、新政権が掲げた長期デフレ脱却のための財政出動、金融緩和、成長戦略の政策により、円安・株高基調となり、緩やかな回復傾向であります。一方で、米国の財政緊縮、欧州債務問題の長期化、中国景気の減速傾向等、国内景気を下押しする懸念材料が継続しております。

国内の医療環境におきましては、少子高齢化の進展等により、医療費の増加傾向が見受けられます。このような環境下において、政府は「医療イノベーション5か年戦略」を昨年6月に策定し、ものづくり力を生かした革新的医薬品・医療機器・再生医療の開発を推進しております。また海外市場におきましても、日本の高度な技術を有する医療に対して需要が高まっており、日本の医療産業の市場を広げ、さらなる成長を目指すことが期待されております。

このような事業環境のもと、当社は幅広い部門で人員を補強するため20名の新卒者を採用し、人材育成に努めております。さらに顧客情報管理の最適化を図るため、社内システムを6月より刷新いたしました。これにより、臨床検査情報システム、検体検査自動化システムの新規顧客獲得と既存顧客の更新需要取り込みに努めてまいります。また、血液検査事業を主体とするOEMビジネスにつきましては、新たなOEM先の開拓、既存のOEM先との関係強化を継続して進めております。また、各製品の薬事・安全・品質管理の機能強化のため、技術本部品質管理グループ、コンプライアンス統括室薬事管理チーム及び品質保証チームを集約し、取締役会直轄の品質保証室を新設いたしました。海外展開につきましては、当社は中国の瀋陽東軟医療系統有限公司との間で設立した合弁会社東軟安德医療科技有限公司（以下、東軟安德）を通じてOEM販売を展開する予定であります。現在、東軟安德では自社開発した生化学分析装置の中国国内における販売許可を取得し販売活動を開始いたしております。また、現地での試薬生産に向けて準備を進め、同時に当社製品のOEM販売に必要な薬事承認の取得を継続して進めておりますが、中国当局の承認が遅れる等の影響で各製品販売と拡販体制確立が難航しております。従いまして、東軟安德への当社製品のOEM販売につきましては、特筆すべき販売実績はございません。

国内販売につきましては、検体検査装置は主なOEM先からの受注・売上が低調に推移いたしました。一方、営業・システムエンジニアの増強等により、臨床検査情報システム及び検体検査自動化システムの販売が堅調に推移いたしました。その結果、当第2四半期累計期間の売上高は4,378,615千円（前年同期比4.6%増）となりました。また、利益面におきましては、一部の消耗品在庫部材の評価減に加え、検体検査自動化システムの新バージョンCLINILOG V4において、大型案件の競争激化や値引き等により採算性が悪化いたしました。販売費及び一般管理費につきましては、主に開発人員の増員とコア技術である電解質、グルコースセンサーの品質強化のための費用計上が増加いたしました。一方、新製品の開発に一定の目処がついた開発業務委託費を削減することで販売費及び一般管理費の増加を抑制いたしました。その結果、営業利益は296,701千円（同28.5%減）、経常利益は282,554千円（同30.2%減）、四半期純利益は201,153千円（同23.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末9,336,389千円と比べ105,487千円増加し、9,441,876千円となりました。流動資産は同172,273千円の増加、固定資産は同66,786千円の減少となりました。流動資産増加の主な要因は、現金及び預金が257,144千円減少した一方、受取手形及び売掛金が492,728千円増加したことによるものです。固定資産減少の主な要因は、投資その他の資産が62,959千円減少したことによるものです。

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末5,139,101千円と比べ37,204千円減少し、5,101,897千円となりました。流動負債は同215,139千円の減少、固定負債は同177,935千円の増加となりました。流動負債減少の主な要因は、賞与引当金が87,874千円増加した一方、支払手形及び買掛金が60,028千円、その他流動負債が163,577千円減少したことによるものです。固定負債増加の主な要因は、長期借入金180,000千円増加したことによるものです。

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末4,197,288千円と比べ142,690千円増加し、4,339,978千円となりました。純資産増加の要因は、利益剰余金が126,070千円増加したことによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期の業績及び事業環境等を踏まえ、通期の業績予想を修正しております。詳細は、平成25年8月5日付「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	723,732	466,588
受取手形及び売掛金	3,442,072	3,934,800
商品及び製品	334,498	343,238
仕掛品	481,254	387,472
原材料及び貯蔵品	539,574	548,031
その他	175,383	188,856
貸倒引当金	△1,376	△1,573
流動資産合計	5,695,140	5,867,413
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	684,384	668,084
土地	1,356,626	1,356,626
その他（純額）	332,281	327,140
有形固定資産合計	2,373,292	2,351,851
無形固定資産		
	150,881	168,493
投資その他の資産		
関係会社出資金	377,956	377,956
その他	766,790	703,831
貸倒引当金	△27,671	△27,671
投資その他の資産合計	1,117,075	1,054,116
固定資産合計	3,641,248	3,574,462
資産合計	9,336,389	9,441,876
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	945,647	885,619
短期借入金	1,960,000	1,950,000
未払法人税等	119,309	98,545
製品保証引当金	94,841	46,198
賞与引当金	5,688	93,562
その他	676,657	513,080
流動負債合計	3,802,144	3,587,005
固定負債		
長期借入金	1,260,000	1,440,000
資産除去債務	5,181	5,224
その他	71,775	69,667
固定負債合計	1,336,956	1,514,891
負債合計	5,139,101	5,101,897

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	577,610	577,610
資本剰余金	554,549	554,549
利益剰余金	3,061,725	3,187,795
自己株式	△456	△521
株主資本合計	4,193,429	4,319,433
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,858	20,545
評価・換算差額等合計	3,858	20,545
純資産合計	4,197,288	4,339,978
負債純資産合計	9,336,389	9,441,876

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	4,187,046	4,378,615
売上原価	2,011,645	2,352,778
売上総利益	2,175,400	2,025,836
販売費及び一般管理費	1,760,697	1,729,135
営業利益	414,703	296,701
営業外収益		
受取利息	9	9
受取配当金	500	650
投資不動産賃貸料	4,976	4,147
その他	906	5,046
営業外収益合計	6,392	9,852
営業外費用		
支払利息	10,734	16,065
その他	5,646	7,933
営業外費用合計	16,381	23,998
経常利益	404,714	282,554
特別利益		
出資金売却益	—	1,722
特別利益合計	—	1,722
税引前四半期純利益	404,714	284,277
法人税等	141,752	83,123
四半期純利益	262,961	201,153

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	404,714	284,277
減価償却費	83,272	97,964
出資金売却損益(△は益)	—	△1,722
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,848	197
賞与引当金の増減額(△は減少)	106,852	87,873
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△60,897	△48,643
受取利息及び受取配当金	△509	△659
支払利息	10,734	16,065
売上債権の増減額(△は増加)	701,241	△492,727
たな卸資産の増減額(△は増加)	△198,884	76,585
仕入債務の増減額(△は減少)	△156,863	△60,028
その他の流動資産の増減額(△は増加)	12,793	△15,262
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△277,796	△177,066
その他	5,265	4,938
小計	625,073	△228,207
利息及び配当金の受取額	509	659
利息の支払額	△10,644	△17,581
法人税等の支払額	△199,047	△103,291
営業活動によるキャッシュ・フロー	415,892	△348,421
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△104,314	△53,241
無形固定資産の取得による支出	△23,366	△23,200
関係会社出資金の払込による支出	△377,956	—
投資不動産の売却による収入	—	74,880
その他	△392	△2,012
投資活動によるキャッシュ・フロー	△506,030	△3,574
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	4,300,000	3,700,000
短期借入金の返済による支出	△4,300,000	△3,400,000
長期借入れによる収入	300,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△10,000	△430,000
自己株式の取得による支出	—	△65
配当金の支払額	△75,083	△75,083
財務活動によるキャッシュ・フロー	214,916	94,850
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	124,778	△257,144
現金及び現金同等物の期首残高	397,634	677,732
現金及び現金同等物の四半期末残高	522,412	420,588

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

当社の事業形態は、主として臨床検査に関する製品及びサービスを顧客に提供する単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。